

福岡県指定無形民俗文化財



八女市黒木町笠原

あさひ ざ にんぎょう し ば い

旭座人形芝居本公演

2024年11月3日(祝) 13:30開演

観覧無料



公演外題

「寿式三番叟」

旭座人形芝居保存会

「傾城阿波鳴門」巡礼歌の段

黒木小学校人形浄瑠璃クラブ

「傾城阿波鳴門」十郎兵衛住家の段

旭座人形芝居保存会

※演目の終了後におたのしみ抽選会をおこないます

後援 八女市・八女市教育委員会

会場 旭座人形芝居会館

福岡県八女市黒木町笠原5005-2

問合せ先 八女市役所・文化振興課
TEL 0943-23-1982(直通)

旭座人形芝居保存会について

旭座の起源は、1872(明治5)年ごろ、
かきはら 笠原地区の わにばち 鰐八集落に浄瑠璃の名人が現れ、祝いの座でひょうたんや徳利を人形に見立てて操ったことに由来します。

以後、九州内の三座から かしら 首を譲り受けて芸題を増やし、農閑期には八女茶のPRを兼ねて興業にまわりました。

1907(明治40)年に旭日に大鷹をあし
らった引幕の寄贈を受け、地名に由来した「鰐八座」から「旭座」と呼ばれるようになりました。1955(昭和30)年に福岡県無形民俗文化財に指定されたことを機に保存会を結成し、継承活動に取り組んでいます。